

令和4年11月 発地別延べ宿泊者数割合

【国内】

(単位：人泊、%)

	県内	福岡県	その他九州	四国	中国	近畿	中部	関東	東北・北海道	国内計
令和4年11月(速報値)	49,852	91,451	56,153	7,957	19,870	31,620	17,803	60,248	7,413	342,367
令和3年11月(確報値)	68,251	91,993	44,838	5,824	17,312	25,965	10,734	47,198	3,351	315,466
前年同月比	73.0	99.4	125.2	136.6	114.8	121.8	165.9	127.6	221.2	108.5
令和2年11月(確報値)	52,006	110,713	52,815	6,045	19,108	35,665	14,335	50,861	4,355	345,903
令和2年同月比	95.9	82.6	106.3	131.6	104.0	88.7	124.2	118.5	170.2	99.0
令和元年11月(確報値)	56,998	96,661	67,832	11,552	28,775	31,340	18,164	55,361	7,918	374,601
令和元年同月比	87.5	94.6	82.8	68.9	69.1	100.9	98.0	108.8	93.6	91.4
令和4年10月(速報値)	52,613	90,876	55,552	8,046	19,529	26,868	14,410	50,133	6,430	324,457
前月比	94.8	100.6	101.1	98.9	101.7	117.7	123.5	120.2	115.3	105.5

【国外】

	韓国	中国	香港	台湾	タイ	その他アジア	欧米豪その他	外国小計
令和4年11月(速報値)	15,649	423	3,244	1,792	2,198	1,749	1,887	26,942
令和3年11月(確報値)	1	12	0	1	14	485	117	630
前年同月比	1564900.0	3525.0	-	179200.0	15700.0	360.6	1612.8	4276.5
令和2年11月(確報値)	6	12	2	1	21	328	107	477
令和2年同月比	260816.7	3525.0	162200.0	179200.0	10466.7	533.2	1763.6	5648.2
令和元年11月(確報値)	7,014	7,242	7,925	11,947	2,509	3,528	3,694	43,859
令和元年同月比	223.1	5.8	40.9	15.0	87.6	49.6	51.1	61.4
令和4年10月(速報値)	9,221	158	841	201	1,179	1,026	1,127	13,753
前月比	169.7	267.7	385.7	891.5	186.4	170.5	167.4	195.9

【全体】

	合計
令和4年11月(速報値)	369,309
令和3年11月(確報値)	316,096
前年同月比	116.8
令和2年11月(確報値)	346,380
令和2年同月比	106.6
令和元年11月(確報値)	418,460
令和元年同月比	88.3
令和4年10月(速報値)	338,210
前月比	109.2

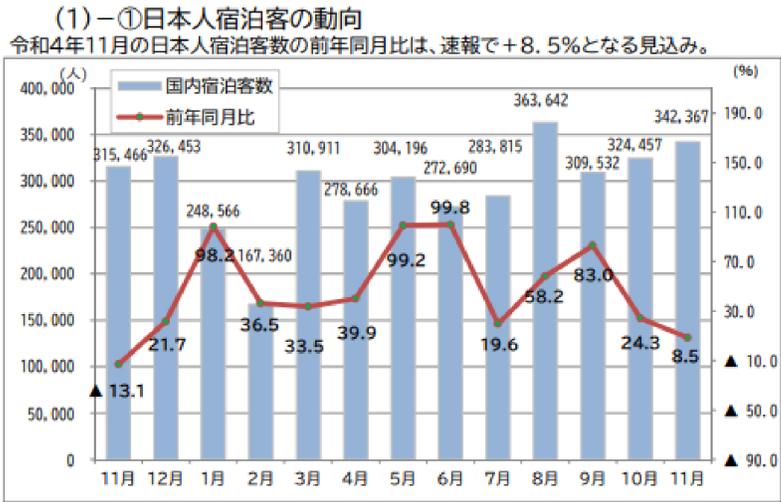
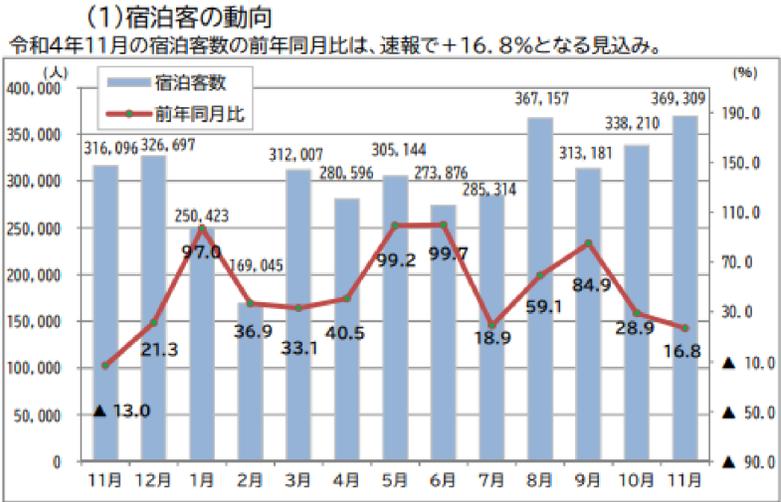
- ①調査対象施設は従業員数10人以上の全施設(187施設 令和4年1月時点)
 ②令和元年の数値については、上記①の施設数をもとに推計しています。
 ③発地別延べ宿泊者数は、速報の公表時に大きく変更されることがあります。

出典：大分県観光統計調査

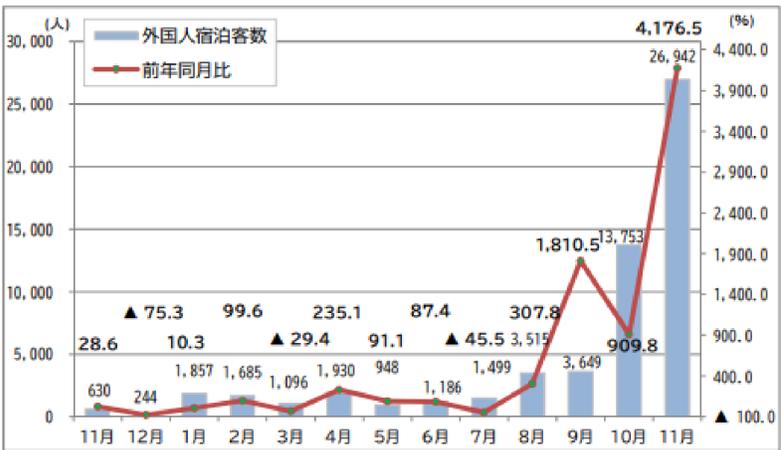
<傾向・分析>

- ・国内の延べ宿泊者数は、前月比105.5%、前年同月比108.5%。10月11日より全国旅行支援がスタートしたことなどから、特に九州外の近畿や関東エリアからの宿泊者が増加しており、コロナ禍前の令和元年と比較しても91.4%まで戻った。
- ・国外の延べ宿泊者数は、10月11日より入国者数の上限撤廃など水際対策が更に緩和されたことなどにより前月比195.9%、前年同月比4276.5%、令和2年同月比5648.2%と増加傾向が続く。
 特に韓国はコロナ禍前の令和元年と比べても223.1%、タイは87.6%と戻りが見られ、全体としても令和元年同月比は61.4%と約6割まで戻った。
- ・全体の延べ宿泊者数は、前月比109.2%、前年同月比116.8%、令和2年同月比は106.6%。コロナ禍前の令和元年同月比は88.3%となっている。

令和4年11月の宿泊客等の動向
(令和3年11月～12月確報、令和4年1月～11月速報)



(1)-② 外国人宿泊客の動向
令和4年11月の外国人宿泊客数の前年同月比は、速報で4176.5%となる見込み。



(2) 有料観光施設(入場客)の動向
令和4年11月の有料観光施設(入場客)の前年同月比は、速報で-1.2%となる見込み。
(調査対象施設29施設)
前年比 屋内施設-6.4% 屋外施設+0.8%



※観光施設の対前年比は、休業業・未提出施設を除いて算出しているため、過去に公表している値と比較すると一致しない場合があります。

出典：大分県観光統計調査

<傾向・分析>

- ・日本人宿泊客は、昨年11月は全国的に行動制限がなく、12月には「新しいおおいた旅割」の対象に近隣県も加わったことなどから11月・12月の宿泊者数は増加傾向となったが、オミクロン株の感染拡大の影響により県内でもまん延防止等重点措置が適用となった1月・2月は2カ月連続で減少となった。3月に入り全国各地でまん延防止等重点措置が解除されたことなどから第6波の前と同水準まで持ち直し、4月・5月・6月は行動制限がなかったことなどから高水準が続いた。7月・8月は感染者数こそ急増したものの、特に8月は3年ぶりに全国的に行動制限がなかった夏休みシーズンであったことなどから宿泊者数は増加傾向が続き、10月には全国を対象とした旅行支援もスタートしたことなどから引き続き高水準が続いている。
- ・外国人宿泊客は、6月10日より観光目的の入国が条件付きで解除された後徐々に戻りが見られ、10月には入国者数上限撤廃など更に水際対策が緩和され、11月にかけては大幅に戻りが見られるものの未だコロナ禍前の水準には戻りきっていない。
- ・全体においては、入国制限の緩和や旅行支援の影響などからインバウンドを含め徐々にコロナ禍前の水準に戻つつある。